

年間指導計画表

教科・科目	公民、政治・経済探究	単位数	4
		学科・学年・学級	普通科普通(文型) 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	民主的で公正な社会の形成者となるために、政治・経済の視点を中心としながら、倫理・文化などの多面的・多元的な観点を取り入れた主権者として現代社会の諸課題について探究できる。
使用教科書・副教材等	教科書「政治・経済」(東京書籍) 副教材「最新政治・経済資料集新版」(第一学習社) 「入試対策問題集ステップアップ政治・経済」(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	民主的なよりよい社会の実現を志向する態度をもつ。	授業中の反応課題	25%
b. 思考・判断・表現	多面的・多元的な観点で公正に判断し表現できる。	授業中の反応課題、考査	25%
c. 技能	良質な資料(データ)を批判的に読解し活用できる。	授業中の反応課題、考査	25%
d. 知識・理解	社会事象について概念をより正確に身に付けている。	授業中の反応課題、考査	25%

3 学習計画

学期	月	時数	主な学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	36	国際政治	国際政治について概観する。	○		○	○
	5		国際経済	国際経済について概観する。 → 第1回考査	○	○	○	
	6							
	7	34	政治探究	既習の政治学習の内容を基に現代社会の諸問題を探究する。	○		○	
8								
9			→ 第2回考査					

学期	月	時数	主な学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
後期	10	35	経済探究	既習の経済学習の内容を基に現代社会の諸問題を探究する。	○		○	○
	11				→ 第3回考査			
	12		問題演習	現代社会の諸問題について総合的に探究する。	○		○	
	1	10						
	2							
【その他】 授業では、倫理分野の復習も行います。第2学年で使用した教科書・資料集・用語集を持ってきてください。								

年間指導計画表

教科・科目	公民、倫理・政経	単位数	4
		学科・学年・学級	普通科国際コミュニケーションコース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自由で公正な社会の形成者となるために、政治・経済の視点を中心としながら、倫理・文化などの多面的・多角的な観点を取り入れた主権者として現代社会の諸課題について考察できる。
使用教科書・副教材等	教科書「政治・経済」(東京書籍)、「高等学校新倫理新訂版」(清水書院) 副教材「最新政治・経済資料集新版」(第一学習社) 「改訂版チェック&演習倫理/政経」(数研出版) 「詳細倫理資料新訂版」(実教出版) 「用語集倫理新訂版第4版」(清水書院)

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	民主的なよりよい社会の実現を志向する態度をもつ。	授業中の反応 課題	25%
b. 思考・判断・表現	多面的・多角的な観点で公正に判断し表現できる。	授業中の反応 課題、考査	25%
c. 技能	良質な資料(データ)を批判的に読解し活用できる。	授業中の反応 課題、考査	25%
d. 知識・理解	社会事象について概念をより精確に身に付けている。	授業中の反応 課題、考査	25%

3 学習計画

学期	月	時数	主な学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	36	源流思想基礎	源流思想が現代にどのように活用できるか概観する。	○		○	
	5		現代の政治原理	西洋思想がどのように政治反映しているか概観する。 → 第1回考査			○	○
	6							
	7	34	源流思想応用	東西の先哲の世界観・人間観・人生観を考察する。	○			○
	8		現代の経済基礎	西洋思想がどのように政治反映しているか考察する。 → 第2回考査			○	○
	9							

学期	月	時数	主な学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
後期	10	35	西洋近代思想	西洋思想が現代にどのように活用できるか考察する。	○		○	
	11		日本経済	西洋思想がどのように経済反映しているか考察する。 → 第3回考査			○	○
	12		日本思想	日本思想が現代にどのように活用できるか考察する。	○	○		○
	1	10	国際経済	日本がどのようにグローバル化しているか考察する。	○		○	
	2		問題演習					
	3							
【その他】								